

足袋蔵の活性化(再生と活用)

平成 16 年行田商工会議所のバックアップを受けて「NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク」が



発足した。同 NPO は旧小川忠次郎商店店舗がそば店「忠次郎蔵」として再活用が始まった。次に牧野本店の足袋工場を再活用し、「足袋とくらしの博物館」を、観光案内所兼まち

づくり情報センター「足袋蔵まちづくりミュージアム」を開館、さらに、平成 22 年には藍染体験工房「牧禎舎」を開館しています。



そして、平成 25 年より足袋蔵の保存・活用を始めようと「ふるさとづくり事業」を開始。「牧禎舎」の未活用部分をアーティスト・シェア工房として、「牧野本店」店舗を女性の起業家支援の店舗施設として、それぞれ再活用しています。

そして、平成 29 年には
化の足元を支え続ける足
ち行田」が日本遺産に認
昭和初期には約 200 軒ほ



行田市教育委員会 文化財保護課 ☎

行田市教育委員会 文化財保護課 TEL:048-553-3581

行田市役所 商工観光課 TEL:048-556-1111

「和装文
袋蔵のま
定された。
どあった

「足袋蔵」は老朽化が進み、現存するものは僅かとなってしまいました。

そして、平成 30 年現在、NPO は再活用を真剣に推進するにも、再生化・加速化が望まれています。

行田市指定有形文化財
旧忍町信用組合店舗移築・保存修理工事 竣工内覧



平成30年4月

行田市教育委員会
ものづくり大学横山研究室

今年の秋にオープンした、行田市に残る大正時代の洋館の一つ「旧忍町信用組合店舗」が市内の水城公園内に移築・復元され、もえぎ色の外観など96年前の姿が現代によみがえった。9月から市民団体が運営するカフェとしてオープンした。



さらに、牧野本店でオープンした着物のお店「着物の仕立て屋」プロの和裁師の仕事を目の前で見学できるお店が始業しました。行田

市は今後、貴重な日本遺産である足袋蔵、いや認定されていない店舗、住宅、蔵の再活用が期待されています。

